

MonthlyTimes (H29. 7月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★



チア・応援団応援風景

野球部、健闘及ばず。無念の敗退！

7月16日(日)、紀三井寺公園野球場で行われた第99回全国高校野球選手権和歌山大会2回戦で、県立和歌山工業高校と対戦しました。応援団、チアガール、吹奏楽部、生徒、保護者、教職員の応援に加え、中山有田川町長他一般の方々も大勢観戦にいられました。試合の方は、初戦の緊張感からか、攻守にわたりリズムに乗ることができず、残念ながら1-8(7回コールド)で敗れました。和歌山工業高校の今後の活躍を祈りつつ、試合後、エールを贈りました。充分実力が発揮できず、悔いが残ったかと思いますが、クラブ活動の軸として地域へのボランティア活動などを引っ張ってしてくれた生徒の皆さんに感謝と敬意を表したいと思います。選手、応援団共々一体感を持って取り組んだ姿は爽快でした。



選手・チア・応援団記念写真



家庭・保育「保育所実習」

家庭系列「保育所実習」で学ぶ

25日(火)~27日(木)の3日間、「家庭系列保育コース」の2年生5名が、有田川町内のふじなみ、きびの森の2保育所の協力のもと、保育所実習に臨みました。保育士への職業理解をより深めるため、5年前から行われています。生徒たちは、職員の方々の指導を受けながら、仕事の大変さや難しさを実感すると同時に、楽しさややりがいも感じとれたようです。



福祉「介護実習風景」

福祉系列「介護実習」の取組

毎年、近隣の福祉施設の協力をいただき、福祉系列2年生(7月19日(水)~9月4日(月))、3年生(6月22日(木)~8月4日(金))が、介護実習に取り組んでいます。実習では、職員の方々から指導を受け、利用者の方々とのコミュニケーションの取り方や適切な支援について、さらに、3年生は、施設の役割と機能について実践的に学んでいます。特に、社会人としてのルールへの遵守や自主的、積極的な姿勢が求められるため、思うようにいかず落ち込む場面もあるようですが、職員や利用者の方々からの支援や励ましなど大きな支えを得て、暑い時期、長期にわたる実習を乗り切って行きましょう！

農業系列「県農業クラブ大会」で最優秀賞に！

25日(火)・26日(水)にかつらぎ町総合文化会館で今年度の県学校農業クラブ連盟大会が開催されました。大会は、グループによる「プロジェクト発表」と個人による「意見発表」があり、それぞれ「I類：生産・流通・経営」「II類：開発・保全・創造」「III類：ヒューマンサービス」の3部門で競われました。

本校は、プロジェクト発表II類とIII類、意見発表I類とII類で発表。発表の内容はもちろん、態度等も高く評価され、最優秀賞を3本、優秀賞1本を獲得しました。最優秀賞は、8月23日(水)・24日(木)に京都市で行われる近畿大会に出場します。結果は以下の通りです。

- ・プロジェクト最優秀賞II類『有田中央高校ブランドスイーツ開発に挑戦』3年久保鷹人(くぼ たかと)・九鬼侑史(くき ゆうじ)・久徳ひかる(くどく ひかる)・林 勢人(はやし せいと)・松田信長(まつだ のぶなが)・III類『サンショウの種子成分を用いた安心野菜栽培』3年柴田開人(しばた かいと)・内芝悠平(うちしば ゆうへい)・石倉啓吾(いしくら けいご)・藤本采希(ふじもと ことき)・西崎隆哉(にしざき たかや)・貞 拓人(さだ たくと)
- ・意見発表最優秀賞II類『梅~それは夢への大きな翼~』3年松田信長(まつだ のぶなが)・優秀賞I類『蜜柑農家の伝統を絶やさない』3年林 勢人(はやし せいと)

1学期終業式、表彰伝達も実施

20日(水)、式に先立ち、表彰伝達では、県ワープロ競技大会で佳良賞に入賞した3年4組宮井弘靖(みやい ひろやす)君と囲碁県大会で団体2位に輝いた2年4組山本映介(やまもと えいすけ)君、1年2組小澤庄吾(おざわ しょうご)君、6組宇井優希(うい まさき)君がそれぞれ表彰されました。

1学期の終業式で学校長の庄田卓爾先生は、清掃ボランティアや球技大会などの学校行事への積極的な参加や優勝や入賞はなかったもののクラブ活動でよく健闘したことを踏まえ、過日、105歳で天寿を全うした医師の日野原重明さんの「与えられた命をどのように使うか。」という言葉を用いて、「生徒の皆さんも限られた時間を大切にして、学校生活において“自主性”を持って臨めば、さらに大きな成果が得られるはず。是非各自で考えてみてください。」と述べられました。また、生徒指導部長の森先生からは、夏休みの過ごし方、身の周りに潜むネット社会、ヒアリなど様々な事故の危険性などについてプロジェクターを使いながら話していただきました。



学校長式辞



表彰伝達